

全国の都道府県アレルギー疾患医療拠点病院のうち、8か所が応募・採択された

免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援モデル事業
令和6年度の採択結果について

■ 免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援モデル事業公募要領に基づき、8か所の都道府県アレルギー疾患医療拠点病院からの応募があり、拠点病院から提出された事業計画書等について、本事業に関する審査委員会による書面審査を行い、以下の拠点病院を採択した。

No	都道府県	拠点病院名
1	北海道	北海道大学病院
2	栃木県	獨協医科大学病院
3	東京都	国立成育医療研究センター
4	愛知県	藤田医科大学ばんだね病院
5	三重県	国立病院機構三重病院
6	大阪府	大阪府立病院機構大阪はびきの医療センター
7	山口県	山口大学医学部附属病院
8	福岡県	国立病院機構福岡病院

令和6年度免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援モデル事業

免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援モデル事業

令和6年度当初予算額 38百万円（38百万円）※（）内は前年度当初予算額

1 事業の目的

○ アレルギー疾患対策の推進に関する基本的な指針（平成29年3月21日厚生労働省告示第76号、令和4年3月一部改正）において、国は、アレルギー疾患を有する者が適切なアレルギー疾患医療を受けながら、本人又はその家族が就労を維持できるような環境の整備等に関する施策について各事業主団体に対し、周知を図ることとされている。

○ 厚生労働科学研究において、免疫アレルギー疾患のために、就職に不利になった方、仕事量や内容が制限された方、仕事のために通院が制限された結果、症状が悪化した方や子どものアレルギー疾患の治療や通院等のために仕事が制限されている方が一定数いるという問題点が明らかになっており、免疫アレルギー疾患患者又はその家族が安心して治療と仕事を両立できることを目的とする。

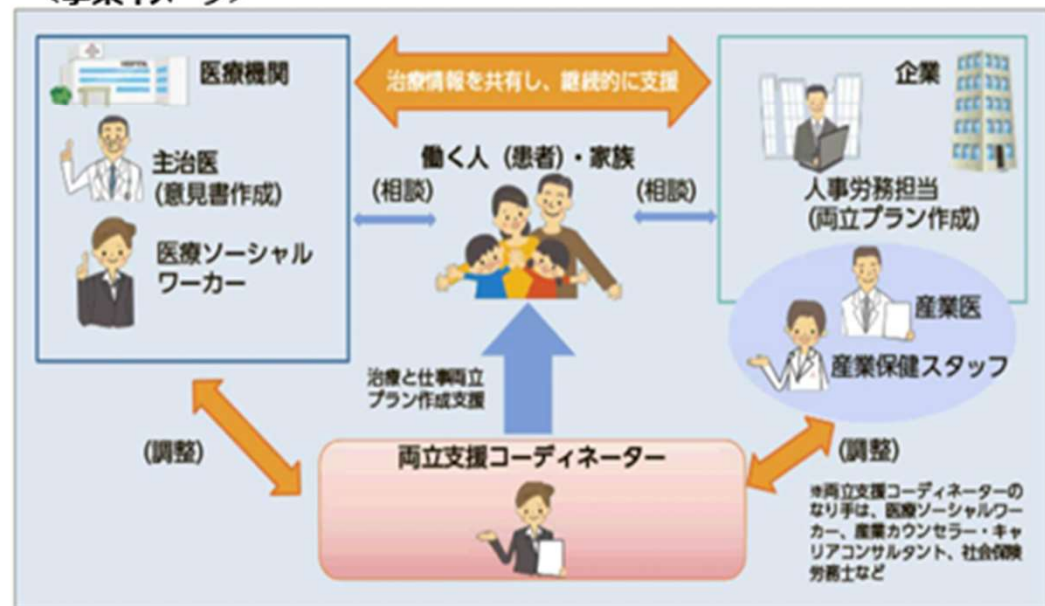
2 事業の概要・スキーム

<事業の概要>

○免疫アレルギー疾患患者又はその家族が安心して仕事の継続や復職に臨めるよう、都道府県アレルギー疾患医療拠点病院等に「両立支援コーディネーター」を配置する。

○都道府県アレルギー疾患医療拠点病院等において、両立支援コーディネーターが中心となり、免疫アレルギー疾患患者又はその家族の個々の治療、生活、勤務状況等に応じた、治療と仕事の両立に係る計画を立て、支援を行うモデル事業を実施する。

<事業イメージ>



3 実施主体等

- ◆ 実施主体：都道府県アレルギー疾患医療拠点病院等
- ◆ 補助率：定額（10/10相当）

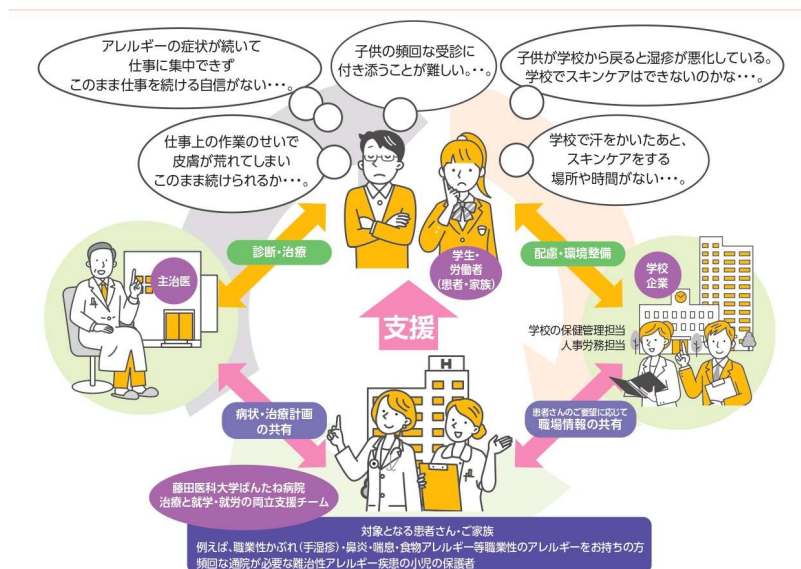
- ◆ 箇所数：8箇所
- ◆ 1箇所あたり：470万円

- ◆ 令和5年度採択数：7拠点病院

当センターにおける両立支援の取り組み

2つの柱

患者さんへの両立支援



アレルギー疾患患者さんの困りごとを解決出来るよう、適切な治療を受けながら仕事、学業を続けるための支援システムを構築し、患者さんをチームでサポートまた、取り組みを広く知ってもらうための情報を提供

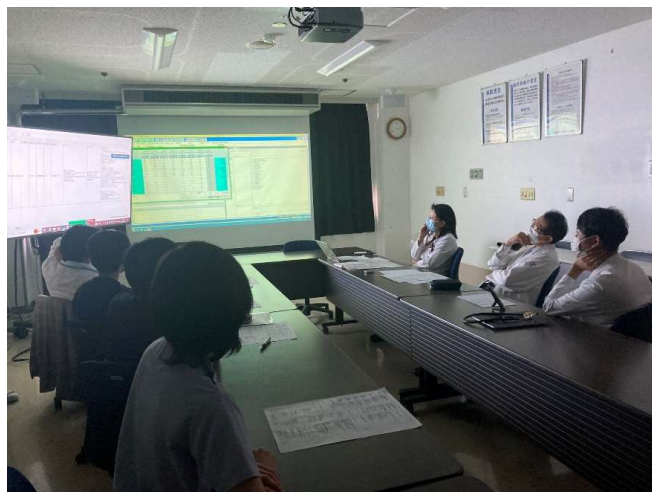
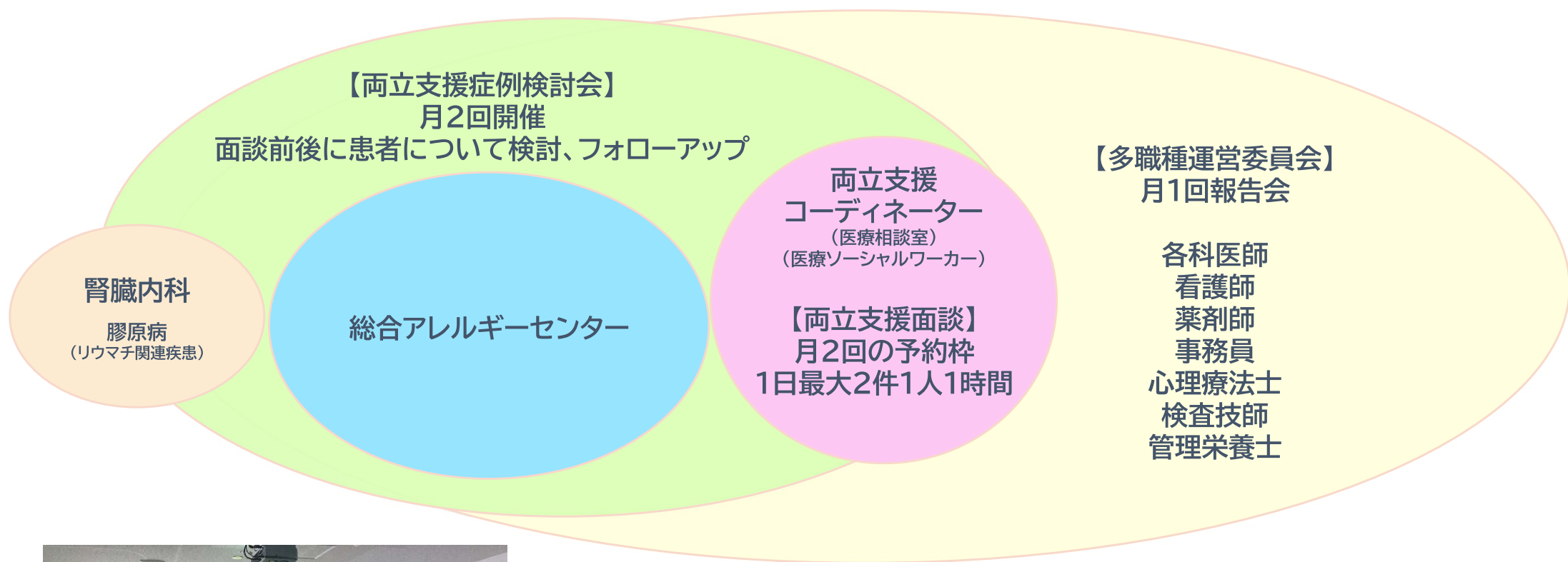
企業に向けての勉強会



企業がアレルギーに対する理解を深めることで、アレルギー疾患を持つ従業員が悩むことなく柔軟な働き方や適切な環境整備を享受でき、その結果、離職を防ぎ、雇用の継続に繋がるよう勉強会を開催

患者さんへの両立支援

実施体制



《両立支援に関わった人員》

- 免疫アレルギー疾患の診療を行う8診療科の医師
(総合アレルギー科、小児科、呼吸器内科、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科、消化器内科、腎臓内科)
- 医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)
- 臨床心理士
- 医療従事者(看護部、薬剤部、検査部、事務部、施設課、食養部)
- 専任事務員

※うち4名(医師、研究員、事務員、医療ソーシャルワーカー)が「両立支援コーディネーター基礎研修」を修了

患者さんへの両立支援

両立支援事例報告

【症例】14例(継続中10例・終了4例)

性別：男性4人、女性10人

年代：10代 3人、20代 5人、30代 2人、40代 4人

とにかく咳が辛い！

～Kさんの場合(20歳代)～

疾患名:食物アレルギー、喘息、花粉症、アトピー性皮膚炎

(本人の希望)

職場で咳がひどく、自分もつらいし、コロナ以降は、周りの目も気になる。何とかしたい。

(支援内容)

どのような場合に咳がひどくなるのかを聞き取った。職場の掃除の際に特に咳がひどくなるということで、ホコリなどが原因と考えられた。マスクをする、掃除の際は別の部屋で待機するなどの対処法を検討し、助言。

(支援結果)

本人から職場担当者に相談し、周囲の理解を得て、業務内容を調整してもらうことができた。咳の誘引となる作業を少なくしてもらい、就労を継続することができた。

みんなと同じように料理がしたい！

～Hさんの場合(10歳代)～

疾患名:食物アレルギー(運動誘発性小麦アレルギー)

(本人の希望)

食物アレルギーのために、学校での調理実習が受けられない。他のみんなと同じように実習を受けたい。

(支援内容)

Hさんの場合は、食物アレルギーがあるものの、調理で触るのは体に支障がないため、その旨を学校に説明出来るよう医師が診断書を作成。

(支援結果)

本人の状況を学校に理解してもらい、エピペン®所持、調理の際は手袋を必ず着用するなど、安全を確保した状態で調理実習に参加できることとなった。

学校に行きたいけれど・・・

～Kくんの場合(10歳代)～

疾患名:花粉症、アトピー性皮膚炎、起立性調整障害

(本人の希望)

毎日、学校に通いたい(現状:昼夜逆転し、朝起きられない)

(支援内容)

学校担任、養護教諭、担当医師を交え面談実施し、本人の病状(起立性調節障害の疑いによる体調不良)を共有。学校での生活態度の聞き取り。アレルギー性鼻炎の症状がひどかったので、適切な診断、治療をして症状が軽減。集中力の持続に影響したと考える

(支援結果)

保健室登校など学校関係者に理解を求め、学校早退、欠席は減少、登校を継続。引き続き、経過観察。

アレルギー疾患では新規治療薬が登場し、重症化を防ぐことができる時代になっているが、それを知らないことで治療を受けず症状が重くなってしまった方も多くいることを実感

【支援が困難であった事例】

～Oさんの場合(40歳代)～

幼いときからさまざまなアレルギーを患い、喘息の症状コントロールが不良。発作が頻発することで、不安が高まり、抑うつ症状も併発。精神科クリニックへも通院、生活保護受給中。支援の手立てが見つからず、支援終了。

～Mさんの場合(30歳代)～

アレルギー症状とともに、統合失調症もあり。治療に生物学的製剤を使用し、皮膚症状は安定したが、心理的な掻きむしりは継続。障害年金を受給中で就労することは難しそうであった。本人の申し出により支援終了。

～Yさんの場合(10歳代)～

アトピー性皮膚炎の症状コントロールは良好だが、昼夜逆転、不登校となる。児童向けウェクスラー式知能検査(WISC)で能力の不安定さを確認。言語性の能力が平均以下。本人の希望や思いに関する表出が少なく、フリースクール等を検討する為、スクールソーシャルワーカーと相談中。児童精神科に通院を開始。

患者さんへの両立支援

情報提供

患者さん向けチラシ

連携病院向けチラシ

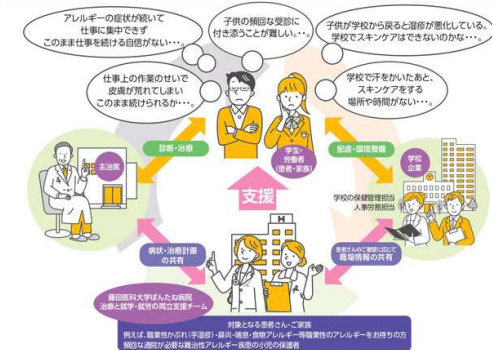
WEBページ・相談窓口設置

● 令和6年度免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援モデル事業 ●

アレルギー疾患の治療と就学・就労の両立をサポートします

藤田医科大学ばんだん病院では、アレルギー疾患患者さんが適切な治療を受けながら仕事を続けるための支援システムを2023年7月より開始しました。

疾患が原因で就学・就労に支障がでて悩まいませんか？ そういった方が学校や職場で適切な措置を受けられるよう、専門医と両立支援コーディネーターがチームとなって個々の症状や状況に適した治療・生活・勤務状況を提案し、患者さんの治療と仕事の両立をサポートしていきます。



治療と就学・就労の両立にお悩みの方は、ばんだん病院の各診療科を受診した際にご相談ください

受診方法は当センターHPよりお問い合わせください。

当センターHPよりお問い合わせください。

藤田医科大学 総合アレルギーセンター
FUJITA HEALTH UNIVERSITY GENERAL ALLERGY CENTER
〒454-8509 愛知県名古屋市中区尾張橋三丁目6番10号 藤田医科大学ばんだん病院内 TEL:052-321-8171 FAX:052-322-4734

● 令和6年度免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援モデル事業 ●

アレルギー疾患の治療と就学・就労の両立をサポートします

藤田医科大学ばんだん病院では、アレルギー疾患患者さんが適切な治療を受けながら仕事を続けるための支援システムを2023年7月より開始しました。

アレルギー疾患を持つ患者さんは、疾患が原因で就学・就労を継続することが困難なケースが数多くあります。そういった方が職場で適切な措置を受けられるよう、専門医と両立支援コーディネーターがチームとなって個々の症状や状況に適した治療・生活・勤務状況を提案し、患者さんの治療と仕事の両立をサポートしていきます。



治療と就学・就労の両立にお悩みの方は、ばんだん病院の各診療科を受診した際にご相談ください

受診方法は当センターHPよりお問い合わせください。

当センターHPよりお問い合わせください。

藤田医科大学 総合アレルギーセンター
FUJITA HEALTH UNIVERSITY GENERAL ALLERGY CENTER
〒454-8509 愛知県名古屋市中区尾張橋三丁目6番10号 藤田医科大学ばんだん病院内 TEL:052-321-8171 FAX:052-322-4734

藤田医科大学 総合アレルギーセンター
FUJITA HEALTH UNIVERSITY GENERAL ALLERGY CENTER
TEL:052-321-8171 (診療科受付は11:00まで) 言語: 日本語

治療と仕事の両立支援

TOP 両立支援事例集

治療と仕事の両立支援

● 令和6年度免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援モデル事業 ●

アレルギー疾患患者さんが適切な治療を受けながら仕事・学業を続けるための支援システムを構築し、2023年10月から運用を開始しました。

アレルギー疾患の診断を受けながら安心して仕事や学業に臨める環境整備を目的に、厚生労働省が「免疫アレルギー疾患患者に係る治療と仕事の両立支援モデル事業実施計画」を公表。当院はこれに賛同し、今年度も両立支援センターがモデル事業に参画しています。

当センターが実施した両立支援システムでは、ばんだん病院の「治療と就学・就労支援チーム」が患者さん個々の症状や状況を総合的に考慮した就学・就労環境を提案し、患者さんのワークライフバランス、企業の生産性、労働環境、学校と両立支援コーディネーターがチームとなって個々の症状や状況に適した治療・生活・勤務状況を提案し、患者さんの治療と仕事の両立をサポートしていきます。

両立支援相談予約日: 第2火曜日・第4木曜日 (診療科受付時にお尋ねください)

相談窓口

アレルギー疾患の治療と就学・就労の両立でお悩みのご相談にお答えいたします。

- アレルギー疾患の治療と就学・就労の両立についての質問に無料でお答えいたします。
- アレルギー疾患全般に関する心配事や悩み事についてはこちらのページへ
- 患者さんやそのご家族だけでなく、医療従事者、教育関係者、企業の皆さまなどアレルギーに関心のある様々な皆様の方からのご相談にも対応いたします。どうぞお気軽にご相談ください。

※相談窓口は、一般の方へのアレルギー疾患に関する適切な情報提供およびアレルギー診療に関わる医療従事者や教育関係者等への人材育成のための情報提供を目的としております。

※相談窓口を利用して診療を行うことはできません。

※回答によって症状が改善されなかったとしても責任を負うものではありません。

入力フォームは以下のアイコンをクリックしてください。

治療と就学・就労の両立のご相談

企業における両立支援 企業での勉強会の実施

アレルギー疾患の治療と就労の両立に関する勉強会

誰もが社会を支える大切な一員であり、
一人ひとりが将来に希望を持って働き続けられる社会を目指して！



アレルギーが就労に及ぼす影響や、就労の際にその企業で発生し得るアレルギーについてのアドバイスなどを、企業向けに講演しました。

アレルギーは、癌や脳梗塞などのように死に直結する疾患ではありませんが、直結しないからこそ周りの人には伝えづらい疾患です。

また昨今では、働き方改革の推進、ハラスメント対策の強化等、就業環境や雇用者側の考え方にも柔軟性が求められています。

本勉強会を通してアレルギーの症状などを共有し理解を深めてもらうことで、アレルギー症状による離職を防ぎ、人材確保につなげたいと考えました。

【講演内容】

- ・企業が知っておくべきアレルギーの実態、仕事へのアレルギー負担
- ・企業はアレルギーにどのように対応、対策しておくべきか
- ・その企業で起こりうるアレルギー
- ・イキイキワクワク働ける職場環境の整備

藤田医科大学YouTubeに
勉強会の模様
治療と仕事の両立支援の説明動画を掲載
<https://youtu.be/TQgOfk7MrSg>



企業における両立支援 企業での勉強会の実施

1. ホーユー株式会社

本社所在地:愛知県名古屋市

業種:ヘアカラー・頭髮化粧品・の製造・販売

従業員数:1,000名以上

【対面開催】

講演日時:2023年11月13日15:00-16:30

講演会場:ホーユー株式会社総合研究所

(参加者数:77名)



2. 株式会社アイシン

本社所在地:愛知県刈谷市

業種:自動車部品、エネルギー・住生活関連製品の製造販売

従業員数:35,000名以上

【WEB開催】

講演日時:2024年3月11日15:00-16:15

講演会場:Web開催(聴講者数:175名)



3. 日本特殊陶業株式会社

本社所在地:愛知県名古屋市

業種:スパークプラグおよび内燃機関関連品の製造、
ニューセラミックおよびその応用商品の製造、販売、その他

従業員数:単独:3,622名(2024年3月付)

連結:15,980名(2024年3月付)

【WEB開催】

講演日時:2024年10月24日15:00-16:00

講演会場:Web開催(聴講者数:131名)



4. 株式会社池田模範堂

本社所在地:富山県

業種:医薬品の製造販売

従業員数:332名(2024年4月現在)

【WEB開催】

講演日時:2024年1月9日11:00-12:00

講演会場:Web開催(聴講者数:133名)



5. スギホールディングス株式会社

本社所在地:愛知県大府市

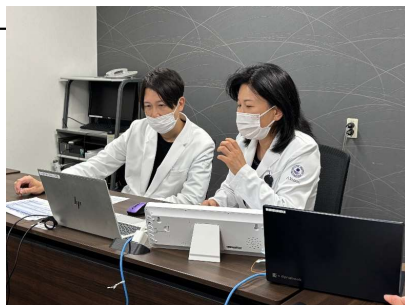
業種:在宅医療にも対応した、
地域連携・地域密着型ドラッグストアの運営

従業員数:8,000名以上

【WEB開催】

講演日時:2024年1月15日14:00-15:00

講演会場:Web開催(聴講者数:85名)

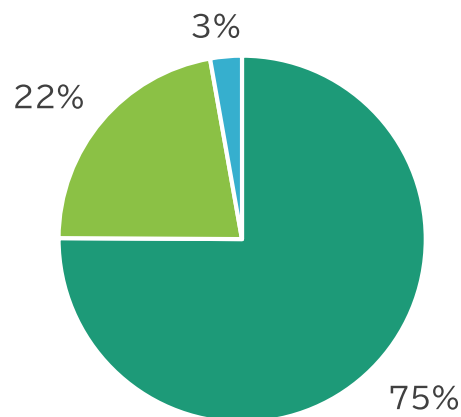


企業における両立支援

企業での勉強会の実施

【勉強会開催後 参加者アンケート結果 一部抜粋】

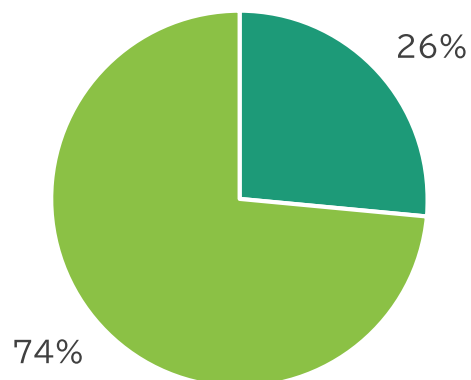
Q1 (ご自身もしくは周りの方で)アレルギー疾患が
就労に大きく影響した方はいますか？
(回答数:321)



- いない
- いる(就労に制限(異動・時短勤務職等)が出た)
- いる(離職した)

離職、異動や時短勤務、休職など
大きく就労に影響した人が4分の1

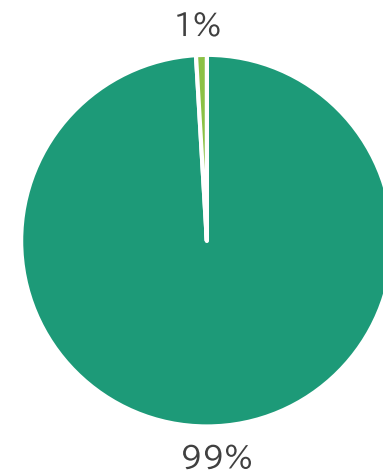
Q2 社内でアレルギー疾患に関わる相談をし
たり受けたりしたことはありますか？
(回答数:321)



- ある
- ない

社内で相談経験がある人が4分の1

Q6 ご自身や周りでアレルギー疾患の治療と就学・就
労で困っている人がいたら、両立支援を活用したいと
思いますか？(回答数:318)



- 活用する
- 活用しない

両立支援を活用したいという回答が99%

企業における両立支援 企業での勉強会の実施

【勉強会開催後 参加者アンケート結果 一部抜粋】

担当や管理職だけでなく経営層の理解も必要、ひいては社会の理解が必要と思います。自分自身や身の回りのアレルギーで苦労している人がいないと実感が持てないかもしれませんが、地道な啓もう活動があると少しずつ理解が広まるのかと思っています。

就労が出来ないほどではないものの、アレルギー疾患のため睡眠不足となったり、集中力が途切れるぐらいの軽い症状の方もいると思います。そういった方の職場でのケアもできると良いと思いました。

人材面で比較的余裕のある大企業より、中小企業の理解が両立支援の実用化の鍵になると考えます。厚生労働省の関係する事業ですので、両立支援コーディネーターを有する企業に対する国の助成があると両立支援そのものの認知、普及が進むと思います。

会社の受け入れ態勢を整えていただくことが重要と考えます。

アレルギー疾患は年を重ねても、カタチを変えて影響を与えるため、長期的なサポートが必要であることを理解しました。そのためには、ハラスメント、介護などと同様に、就労継続できるような世の中の理解が必要であり、そのための施策が国？からの強いメッセージが必要であると感じました。アレルギー疾患は身近であるため、まだ、我慢するべきとの認識が強いのではと思いました。

アレルギーに対する社会全体の理解を広めるための啓発活動
企業の産業医との連携が必要

今後の課題

令和5・6年度モデル事業を通して

課題

- ・両立支援が必要な移行期の患者へのアプローチ方法
- ・両立支援の継続方法
- ・長年に渡るアレルギー疾患による心の健康に対するケア



改善施策

- ・小児科と成人患者を診療するその他の科との連携
- ・通院、治療の大切さの周知
- ・病診連携
- ・産業医との連携
- ・企業への周知



アレルギー疾患が就学・就労に与える影響、最新の治療方法、両立支援の取り組みを広く周知
病診・他科連携の強化

まとめ

多職種が連携し様々な活動を行っている当センターにおける両立支援の取り組みとして

- ① アレルギー疾患の治療と就学・就労の両立支援の診療体制を整え、患者さんや地域連携病院に向けて情報提供を実施
- ② 企業に向けてアレルギー疾患の治療と就労の両立に関する勉強会を実施

以上をまとめ、両立支援の取り組みが全国に広がるよう
他病院でも両立支援に取り組むことが出来る手引き書を作成予定



アレルギー疾患を持つ患者さんが、
患者さんのご家族が

アレルギー疾患と向き合いながら社会で活躍できるよう、企業や学校と医療が連携し
一人ひとりの患者さんや保護者の方々を支える社会を創っていただきたいと思います